

調達管理番号・案件名
25a00199_ギニア国国立公衆衛生研究所検査室マネジメント

質問と回答は以下のとおりです。

2025年10月30日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	8	HPLC及びGCMSの操作習得をギニア国内の候補機関（薬用・食用植物研究センター、食品品質管理センター）で研修を実施する	この薬用・食用植物研究センター、食品品質管理センターにおいて、これらのセンターに対する研修費用は本プロポーザルの見積もり金額に含めることが必要でしょうか。その金額はいくらでしょうか。あるいはコンサルタント側で、INSP及びこれらのセンターに連絡して、研修費用の見積もりを取り、本プロポーザルの見積もりに含めるのでしょうか？	研修費用は、他の活動費と同様に本プロポーザルの見積もり金額に含めて頂きたいです。研修は食品品質管理センターからの支援での実施となります。
2	9	HPLC及びGCMSの現地研修	実施場所 キンディア州コヤ県カクリマヤとありますが、これは本計画で対象とするINSPを意味するのでしょうか。あるいは、研修を依頼する、ギニア国内の候補機関（薬用・食用植物研究センター、食品品質管理センター）が当該地域にあるという事でしょうか。	本研修はINSP（キンディア州コヤ県カクリマヤ）で実施する想定で、研修講師を食品品質管理センターに依頼します。
3	9	HPLC及びGCMSの操作習得現地研修	この研修に使用するHPLC及びGCMSは、INSPに供与した、HPLC及びGCMSを想定されていますでしょうか。その場合、長期間使用していないと思われますので、使用前、つまり研修前にメーカーによる整備が必要になります。メーカーあるいは代理店からの技術者派遣費はこの研修費に含めればよろしいでしょうか。また薬用・食用植物研究センター、食品品質管理センター所有のHPLC及びGCMSを使用する場合にも、研修後、HPLC及びGCMSの使用開始に当たっては、メーカーあるいは代理店からの技術者派遣による整備が必要です。その場合の費用は、調達機材に含めればいいのでしょうか。	研修に使用するHPLC及びGCMSは、INSPに供与した機材になります。また、JICA支援による技術者派遣は想定しておらず、研修前の動作確認についてはINSPの自費で現在対応中のところになります。
4	17	1) INSPが新検査室を効率的かつ持続的に運用できるよう検査室マネジメント能力を強化する。 2) INSPが新検査室を安全に運用できるようバイオセーフティー・バイオセキュリティ能力の強化を支援する。	本活動で対象とするのはコヤ県に新設されたINSPコマヤグアのラボのみでよろしいでしょうか。職員の一部はノンゴ分室とコヤ県新設ラボを兼任して業務をされています。	本専門家の活動は日本が建設したINSP（キンディア州コヤ県カクリマヤ ウォンキフォン）のみを対象としております。INSPの要望があれば、ノンゴ分室スタッフも研修に参加することも想定されます。

以上